

小田急電鉄（株）への、 DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの実行 -小田急グループのCO₂排出量削減を対話を通じてサポート-

株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：地下誠二、以下「DBJ」という。）は、小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長：星野晃司、以下「小田急電鉄」という。）に対し、DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン（以下「本ローン」という。）を2023年3月31日に実行しました。

本ローンは、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」（以下「SLLP」という。）及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」（以下「環境省ガイドライン」という。）に基づき、貸付人であるDBJが対話を通じて借入人である小田急電鉄のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケータ（以下「KPI」という。）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」という。）の設定を支援するとともに、貸付期間中の定期的な対話によりSPTの達成に向けて伴走する融資メニューです。

小田急電鉄では、経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業にむけて～」において、地域価値創造に向けた経営判断の一軸として「環境軸」を明確化し、環境負荷の低減をはじめとした環境課題の解決に事業を通じて貢献すべく、「環境ビジョン」「環境戦略」「環境長期目標」で構成する「小田急グループカーボンニュートラル2050」を策定しております。

本ローンでは、「小田急グループカーボンニュートラル2050」において「環境長期目標」として掲げられた、2050年CO₂排出量実質ゼロに向けたCO₂排出量削減目標を、以下のKPI・SPTとして設定しました。

KPI	小田急電鉄及び小田急電鉄連結子会社（バス・タクシー事業を除く）のCO ₂ 排出量（総量ベース、Scope1及び2）の削減率（2013年度比）
SPT	2030年度削減率46%

本件資金については、鉄道事業の設備投資資金に充当され、環境負荷の低い新型車両の新造や、省エネ設備の導入等小田急グループの脱炭素社会の実現推進に貢献する用途へ活用されます。

小田急グループ全体で脱炭素社会に貢献するとともに、DBJとの間で、小田急グループの気候変動対応に関する定期的な対話を行いつつ、目標達成に向けた取り組みを推進してまいります。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、サステナビリティ経営の実現に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

※ 本ローンのSLLP及び環境省ガイドラインへの準拠性について、詳細は下記リンクをご参照ください。

https://www.dbj.jp/upload/dbj_news/docs/f06672b340a61100437972d19d46485a_1.pdf